



【日米起業家セミナーのご招待】

起業における大学の役割

“The Role of Universities in Innovation: From Academe to Innovative Startups”

■日英同時通訳付き■

アメリカ総領事館では、京都大学産官学連携本部と共催で、5月、6月、7月の3回に渡り、日米起業家セミナーを開催することになりました。景気の低迷が長引き、若者に元気がないと評される日本。そのなかで起業家の果たす役割はますます重要になると言われています。このたびはスタンフォード大学教授ジェームズ・ハリス氏をお迎えし、技術革新や起業における大学の役割についてお話いただきます。また、ゲストコメンテーターには京都大学産官学連携本部教授の木谷哲夫氏をお迎えし、起業をとりまく日本の現状をお話いただきます。

■次回6月にはカルロス・アラウジョ氏(コロラド大学教授)、7月にはラリー・ウェーバー氏(元松下電器プラズマコInc.社長)をゲストにお迎えする予定です。



ゲスト・スピーカー

ジェームズ・ハリス(James S. Harris) スタンフォード大学 教授 (James and Ellenor Chesebrough 教授)

電子工学、応用物理学、材料科学が専門分野。スタンフォード大学固体物理研究所所長、外部機関との連携プロジェクトの責任者、US-Asia 技術経営センター最高責任者などを歴任。企業における経験も深く、ロックウェルインターナショナル社にて半導体デバイスの研究開発責任者を歴任。スタンフォード大学ではシリコンバレーにおける大手企業並びにベンチャー企業との連携協力を推進。同外部役員も兼任。バリアン社、インテル社、松下電子工業等の顧問も歴任し、15件の著書を含む850を超える学術論文を発表、他、特許多数。1969年スタンフォード大学より工学博士を取得、化合物半導体の研究業績により、2000年 IEEE Morris N. Liebmann Memorial 賞、2000年 IEEE Third Millennium Medal など多くの賞を受賞。1992年アメリカ物理学会フェロー、1988年 IEEE フェロー、2005年 OSA (Optical Society of America) フェロー。IEEE など各種学会における委員会運営も手がける。年間約20人の Ph.D 学生の研究指導の他、外国からの留学生を多く受け入れるなど、教育活動も熱心。



ゲスト・コメンテーター

木谷哲夫 (Tetsuo Kitani) 京都大学産官学連携本部 IMS 寄附研究部門教授

京都大学における起業家教育を推進しつつ、大学における研究成果物の事業化支援、ベンチャー支援方法論等の研究に従事している。マッキンゼー・アンド・カンパニーにて新規事業戦略プロジェクトなどを手がけ、日本興業銀行にて企業金融業務、アリックス・パートナーズではネットベンチャー企業のターンアラウンド業務等に従事した経験も有する。現在、大阪府改革評価委員、大阪府特別参与。東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了(MA)、ペンシルバニア大学 MBA。

- ★ と き 2011年5月23日(月)
セミナー 午後1時30分～3時30分 (受付開始 午後1時～)
懇親会 午後3時30分～4時30分
- ☆ ところ ヒルトン大阪 5階 桜の間
大阪市北区梅田 1-8-8 TEL: 06-6347-7111 (添付地図参照)
- ★ 参加費 無料
- ☆ 対象者 大学生、大学院生、大学関係者、政府関係者、ビジネスマン、ジャーナリスト
- ★ 主催 駐大阪・神戸アメリカ総領事館 広報部
- ☆ 共催 京都大学 産官学連携本部

- 参加方法 添付の参加申込書をご覧ください
- お問い合わせ 駐大阪・神戸アメリカ総領事館 広報部
担当: 松村 (TEL: 06-6315-5974/090-6826-2915)